

世界史B 近現代 38西アジア、アフリカ、インド、東南アジア

1, 西アジア・アフリカの独立と革命

- ①オスマン帝国 **セーブル条約(1920)**---()1以外の領土を失う。治外法権。
 - └シリア・レバノン(1920年シリアから分離)---仏の委任統治
 - └イラク・ヨルダン・パレスティナ---英の委任統治
 - └()2=スミルナ=周辺(エフェesos、ペルガモン)---ギリシャに割譲
- 1920年 ()3=ケマル(ケマル=パシャ、アタテュルク)(1881~1938)❖aの蜂起→アンカラに臨時政府
- 1922年 アンカラにせまった()4軍(英の支援)を破る
 - └()5制」を廃止→トルコのアンカラ政府一元化
- ❖a---マケドニアのテッサロニキ生まれ。ムスタファ=「選ばれし者」ケマル=「完全な」士官学校を卒業し第一次大戦に従軍。大戦後、世俗主義、民族主義、共和主義によるトルコ建国。アタテュルクは「トルコの父」
- 1923年 ()6条約 →独立達成=不平等条約撤廃・イズミルなど回復
 - トルコ共和国樹立 **大統領ケマル**
 - └()7制廃止→脱イスラム国家化 マドラサ・シャリーア法廷を廃止
 - └トルコ語のアラビア文字表記を[]8文字表記に変更
 - └信仰の自由=イスラムの()9規定削除・女性の地位向上=**近代化政策**
- ②イラン 英・露の占領。ロシア革命後、イギリスの支配下。大戦中、中立。
 - 1921年 **カージャール朝下、レザー=ハーン(位1925~41)のクーデター。**
 - 1925年 **カージャール朝を廃し、()10朝(~1972)を開く。**英との不平等条約破棄。
 - 1935年 国号をペルシャから()11=「アーリア人の地」=とする。
- ③エジプト 大戦中、戦後の自治を約束され多くの兵士を戦場へ
 - 大戦後、()12党(1919~)❖bの独立運動
 - 1922年 **エジプト王国=立憲君主制=**として形式的に独立→完全独立の運動継続
 - 1936年 イギリス=エジプト条約→()13運河一帯を除き英軍撤退
 - ❖b---イスラム教徒と()14教徒が英国の植民地支配に対して協調して結成した党。
- ④アラビア半島
 - 1916年 ()15王国=紅海沿岸=建国 王フサイン(位1916~24)=**メッカ大守・ハーシム家**
 - 1921年 ()16王国(~58)独立 王ファイサル(位1921~33)=フサインの子=ハーシム家 1932年完全独立
 - 1923. **トランスヨルダン王国** パレスティナをヨルダンから分離
 - ⇒「[]17委任統治領パレスティナ」(~1948)→ユダヤ人の入植開始
 - 1932年 **イブン=サウード(1880~1953)、ヒジャーズを倒し、()18王国建国。**

[アフリカの二つの民族運動]

- └1912年 **南アフリカ原住民族会議** 白人優位主義に反対・アフリカ人の権利要求
- のちのアフリカ民族会議=()19
- └1919年 **パンアフリカ会議(パリ)** パンアフリカニズム---米のデュボイス(1868~1963)による

2, インドの独立運動 インド帝国(1858~1947) 戦後のインド自治権を約す。

- 1919年 **インド統治法** 議会開設→形式的自治 総督の独裁
 - ()21法制定(3月)---→「無政府・革命分子犯罪取締法」
 - インド総督は令状、審理なしでインド人を逮捕、投獄できる。弾圧法。名称は委員長名から
 - ()22虐殺事件❖c(4月) **パンジャーブ州**
 - ❖c---自治約束無視や指導者逮捕への抗議集会に英将校率いるグルカ兵が発砲、市民千人以上死傷
 - []23(1869~1948)❖d=「マハトマ」=偉大な魂
 - └**非暴力・不服従の抵抗運動**→()24=真理把握=を求める平和主義・人権運動
 - └()25=チャルカ=⇒手織り綿布運動⇒民族自立の象徴として
 - ❖d---インド北西部グジャラート出身。イギリスで法律を学び弁護士。南アで公民権運動に参加。1915年帰国後独立運動を指導。新約聖書とトルストイなどの影響で非暴力思想を形成。

- 1925年 **インド共産党結成。**
- 1928年 ()26(1889~1964)❖eの憲法草案=1年後の独立要求・ムスリムの議席確保は否定
- 1929年 **ラホール大会(議長ネルー)**で「()27=**スワラージ**」=完全独立=を決議。
 - ❖e---インド北部でバラモンの家の生まれ。イギリスのケンブリッジで学び弁護士。1929年からインド国民会議長。1947年インド初代首相(~64年)
- 1930年 **ガンディー、塩の専売制に抗議し、「()28の行進」**=グジャラートから海岸へ=を行う。イギリス、ガンディーら6万人を逮捕。 ロンドンで「**英印円卓会議**」(~32)
- 1935年 **改訂インド()29制定**--州政府(11)に自治権。総督(英人)の権限は残す。
- 1937年 選挙で国民会議派が11州中6州で勝利。
- 1940年 **ムスリム連盟、()30の独立要求決議。**

3, 東南アジアの独立運動

- ①インドネシア
 - 1920年 **インドネシア共産党結成**→()31初の共産党。26~7年の蜂起→大打撃
 - 1927年 **インドネシア国民党結成。**()32(1901~70)❖fら→統一と独立を目指す
 - ❖f---ジャワ島東部スラバヤ生まれ。独立運動に従事し逮捕投獄を繰り返す。**ムルデカ**=愛国運動を提唱。1945年初代大統領。1949年ハーグ協定によりオランダから主権委譲。
- ②フィリピン アメリカ合衆国支配下で独立運動継続
 - モノカルチャー化の進行。(サトウキビ、マニラ麻)
 - 1934年 「**フィリピン()33**」=ローズヴェルト政権下→10年後の独立承認
 - 1935年 独立準備政府設立
- ③仏領インドシナ
 - 1925年 **ヴェトナム青年革命同志会結成。**()34(1890~1969)❖g
 - 1930年 香港で[]35共産党結成、独立運動展開
 - ❖g---1911年見習いコックとしてフランスに渡り、船員として世界を回る。1919年仏社会党、22年仏共産党に参加。1945年[]36民主共和国成立により初代国家主席(1945~69)。
- ④ビルマ 1886年英領インドに編入=コンバウン朝滅亡
 - 1930年 僧侶サヤ=サン(1876~1931)の指導する農民蜂起。英軍により弾圧。
 - ()37=主人=党結成---ラングーンの大学生中心→民族独立運動
 - 1935年 「**改訂インド統治法**」---ビルマを()38から分離、一定の自治を認める。
 - 1936年 タキン党首に()39(1915~1947)❖h →独立運動継続=日本の援助下で「ビルマ独立義勇軍」
 - h---ビルマ中部の生まれ。ラングーン大学学生の頃から独立運動を開始。1939年ビルマ共産党結成時の初代書記長。1942年ヤンゴン陥落。1945年日本軍に対して蜂起。1947年暗殺される。「**ビルマ建国(1948)の父**」
- ⑤タイ(シャム)
 - 1932年 「**人民党**」により立憲君主政へ移行=「**タイ()40革命**」憲法と議会設立。
 - 1937年 **ピブン(1897~1964)首相、国号を「サヤーム」→「タイ=()41」とする。**



ムスタファ=ケマル



ガンディー



ネルー



スカルノ



ホー=チ=ミン

・塩 ・糸車 ・国教 ・立憲 ・自由 ・独立 ・独立法 ・統治法 ・**ANC** ・ネルー ・インド ・イラン
 ・イラク ・アジア ・カリフ ・コプト ・タキン ・ワフド ・スエズ ・スカルノ ・ギリシャ ・ンクルマ
 ・イズミル ・プールナ ・スルタン ・ローザンヌ ・ムスタファ ・パキスタン ・ヒジャーズ ・アナトリア
 ・ローラット ・アウン=サン ・パフレヴィー ・アムリットサル ・ホー=チ=ミン ・サウジアラビア
 ・サティヤーグラハ